

第2回予算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年12月15日（火）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年12月15日（火）午前10時18分
- 3 会議場所 議会協議会室
- 4 出席委員
 - 1 番 永徳 省二君
 - 2 番 大森 進次君
 - 3 番 佐藤 武君
 - 4 番 佐々木雄司君
 - 5 番 光成 良充君
 - 6 番 保田 守君
 - 7 番 大口 浩志君
 - 8 番 治徳 義明君
 - 9 番 原田 素代君
 - 10 番 行本 恭庸君
 - 11 番 松田 勲君
 - 12 番 北川 勝義君
 - 13 番 福木 京子君
 - 15 番 岡崎 達義君
 - 16 番 下山 哲司君
 - 17 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
 - 14 番 佐藤 武文君
- 6 説明のために出席した者
 - 市 長 友實 武則君
 - 副 市 長 前田 正之君
 - 副 市 長 川島 明昌君
 - 教 育 長 土井原康文君
 - 総合政策部長 安田 良一君
 - 総 務 部 長 塩見 誠君
 - 財 務 部 長 藤原 義昭君
 - 市民生活部長 作本 直美君
 - 保健福祉部長 入矢五和夫君
 - 産業振興部長 是松 誠君
 - 建設事業部長 杉原 洋二君
 - 消 防 長 井元 官史君
 - 教 育 次 長 有馬 唯常君
 - 総 務 課 長 小坂 憲広君
- 7 事務局職員出席者
 - 議会事務局長 元宗 昭二君
 - 副 参 事 逢坂紀美子君
- 8 審査又は調査事件について
 - 1) 議第73号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算審査特別委員会を開催いたします。

まず初めに、本日、佐藤武文委員より欠席届が提出されておりますので御報告いたします。

それでは、友實市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、大変御多忙の中、第2回の予算審査特別委員会をお開きいただきまして、ありがとうございます。

本日、御審査をいただく案件といたしましては、議第73号の令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）でございますが、これを議題として審査をお願いするようになろうかと思えます。慎重なる御審査をいただいて適切なる御決定をいただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）であります。付託案件につきましては、各分科会に分担し、付託事件審査または調査が行われ、各分科会委員長報告が提出されておりますので、委員長報告を求めます。

それでは、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）について委員長報告を求めます。

総務分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

佐藤委員長、報告をお願いします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会総務分科会に分担されました予算案1件について、12月9日、総務分科会を開催し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）のうち、総務常任委員会所管部分について。

委員より、マイナンバーカードについて交付状況はどうなっているのかとの質疑に、執行部は、令和2年11月15日現在で8,231人に交付している。人口に対する交付の割合は18.63%であるとの答弁。

委員より、個人番号カード交付事業費補助金について、交付目標枚数に到達しなかった場合は補助金の返還を求められるのかとの質疑に、執行部は、国から入ってきた補助金を地方公共団体情報システム機構にそのまま支払うもので返還を求められることは別物であるとの答弁。

委員より、常備消防費について、泡消火薬剤に含まれるPFOS（ピーフォス）、いわゆる残留性有機汚染物質の人体への影響は何かとの質疑に、執行部は、人体に取り込まれると5年から6年体内にとどまるという文献があり、発がん性が懸念されているとの答弁。

委員より、泡消火薬剤ということだが、一般家庭に置いてある消火器は関係ないのかとの質疑に、執行部は、一般家庭に置いてある粉末の消火器にはPFOSは含まれていないとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 総務分科会委員長報告が終わりました。

これから総務分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。なければ、総務分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

続きまして、厚生文教分科会委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） それでは、予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会厚生文教分科会に分担されました予算案1件について、12月7日、厚生文教分科会を開催し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）のうち、厚生文教常任委員会所管部分について。

委員より、繰越明許費の東京オリンピック推進事業885万2,000円について説明をとの質疑に、執行部は、新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020オリンピックの聖火リレーが令和3年5月20日に延期されたことに伴い繰り越すものであるとの答弁。

委員より、他のオリンピック関連予算に流用することはないのかとの質疑に、執行部は、ほかの費用に充てることはないとの答弁。

委員より、生活保護扶助費2,000万円の増額について、新型コロナウイルス感染症の関係で生活が厳しくなったためか。また、当初予算編成時から件数は変わっていないのかとの質疑に、執行部は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものではなく、既存の被保護者の中に入院、手術など高額な医療費がかかった人が複数いたためである。また、当初予算編成時に想定していた人数、世帯数は超えていないとの答弁。

委員より、障害者福祉費のシステム保守等委託料について、具体的にどのような改修をするのかとの質疑に、執行部は、障害者総合支援法の改正に伴い給付費の報酬改定があった、それに伴うシステム改修であるとの答弁。

委員より、障害者福祉費の備品購入費について、手話サービスに関する備品のことだが、具体的に何を購入予定なのかとの質疑に、執行部は、県の遠隔手話サービス等実施体制整備事業で遠隔手話を行うためのノートパソコン、ヘッドセット、ウェブカメラであるとの答弁。

委員より、誰が使用する予定なのかとの質疑に、執行部は、市が任用している手話通訳者を想定しているとの答弁。

委員より、コミュニティ助成事業助成金について、3地区に助成が決定したとのことだが、今年度決定しているものに3地区追加ということなのか。また、何地区から申請があったのかとの質疑に、執行部は、令和2年度は既に2地区決定している。今回の3地区については、宝くじの売上げが好調で、新型コロナウイルス感染症で地域のコミュニティ活動が低迷しているため早期に助成して活性化してもらうために追加になった。また、申請は11地区からあったとの答弁。

委員より、特別支援教室の学級増について、山陽西小学校は空き教室があるが、山陽東小学校、山陽北小学校はいっぱいである。教室はどのようになるのかとの質疑に、執行部は、山陽西小学校は多目的教室2教室、山陽東小学校、山陽北小学校は相談室を活用する予定にしているとの答弁。

委員より、以前桜が丘小学校を視察した際は、満員で1つの教室を2つに分けていたり、職員室は身動きも大変という状況だった。現状の説明をとの質疑に、執行部は、現状はいろいろな教室を活用しており、山陽西小学校は人数が減少傾向なので、そういった教室が使えている。山陽東小学校、山陽北小学校は、近年ほぼ横ばいの状況なので学校と協議を行い決めている。また、桜が丘小学校については、増築工事を行い改善しているとの答弁。

委員より、吉井郷土資料館改修の概略について説明をとの質疑に、執行部は、昭和2年に建築してから築93年が経過し、各所の老朽化が著しい。今回の改修工事は、建物の外壁塗装、窓枠の交換、修繕、窓ガラスのUVカット化を行うとの答弁。

委員より、進捗状況はどうかとの質疑に、執行部は、現在足場を組んでおり、工事はこれか

らであるとの答弁。

他に質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 厚生文教分科会委員長報告が終わりました。

これから厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

続きまして、産業建設分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） それでは、予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会産業建設分科会に分担されました予算案1件について、12月8日、産業建設分科会を開催し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）のうち、産業建設常任委員会所管部分について。

委員より、農地集積促進事業について津崎地区から要望があったということだが、今後市内全域についてどのように考えているのかとの質疑に、執行部は、区長会で事業の概要説明をしている。今後、圃場整備などをしていく地区があると思うが、圃場整備事業をしていくところには、農地中間管理機構及び市から説明し、地域集積協力金を使ってもらうよう案内をしていくとの答弁。

委員より、集積集約化タイプの交付単価の区分について、津崎地区が機構の活用率70%超えとなることについて説明をとる質疑に、執行部は、耕地面積のうち機構に預ける面積の割合によって交付単価が決まるものであり、津崎地区の耕地面積が16.7ヘクタール、この事業を活用する面積、これは機構に預ける面積という意味です、活用する面積が15.2ヘクタールである。活用率は91%となるため区分活用率70%超えとなるものであるとの答弁。

委員より、ため池水位計設置について詳細説明をとる質疑に、執行部は、推移のデータを携帯電話から確認できるようにするものであるとの答弁。

委員より、市民も確認できるのかとの質疑に、執行部は、確認できるのはため池の管理者、

地域の代表者を考えているが、詳細は今後検討していくとの答弁。

委員より、水位計の設置場所は、山陽3か所、赤坂2か所ということだが、今後の計画について説明をとの質疑に、執行部は、重点的に検討していきたいのは防災重点ため池に指定されている343か所のため池である。今後の予定だが、地元から強い要望があれば、国、県に要望していくことを考えているとの答弁。

委員より、地元要望がなければ今後は実施しないのか、実施しないということではなく継続的に事業を推進するべきではないのかとの質疑に、執行部は、危険予知をすることは重要だと考える。今後は、下流の家屋、公共施設等への想定被害の大小、国、県の財政支援の状況を踏まえて補助事業の採択基準の範囲内で必要性を検討していくとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 産業建設分科会委員長報告が終わりました。

これから産業建設分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

これで議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）の質疑を終了いたします。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）について採決を行います。

議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 全員起立ですね。したがいまして、議第73号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算審査特別委員会を閉会いたします。

閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日は、大変お忙しい中、第2回の予算審査特別委員会をお開きいただきまして、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）の御承認をいただきまして大変ありがとうございました。

12月も半ばを越えまして本12月議会定例会も18日が最終日となります。どうぞよろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

○委員長（大森進次君） ありがとうございました。

これで予算審査特別委員会を閉会いたします。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午前10時18分 閉会